



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成29年6月27日発表
担当課:スポーツ観光課

事業の名称等
熊谷うちわ祭について

- 日時 平成29年7月20日(木)～22日(土)
- 場所 熊谷市街地、お祭り広場ほか
- 事業概要
熊谷で江戸時代から続く八坂神社の祭礼。”関東一の祇園”と呼ばれ、例年、3日間の開催中に約75万人の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りである。
21日、22日には、国道17号を含めた市街地で交通規制が行われ、12台の山車・屋台が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行する。

今年で5年目となりますが、お祭り期間中の21日(金)の朝、コミュニティひろばに志賀高原、湯田中・渋温泉のある長野県山ノ内町から雪20トンと足湯2トンが届きます。
- 特徴やPRポイント
(1)「渡御復古」
山車屋台の巡行に関心が集まる中、不易の部分である「神事」に着目する。渡御復古を通じ、山車屋台の巡行や叩き合いといった華やかさだけでなく、歴史的かつ文化的な祭りの価値を高めていきます。
(2)「うちわ祭大学」
うちわ祭大学を7月7日(金)に開講し、今年は渡御祭、神事について学びます。
(3)21日「昼扇」
21日の巡行祭で、14時20分頃から「昼扇」を組み、山車屋台が集結します。昼間の絶好のシャッターチャンスです。

このほか、21日にはコミュニティひろばで、お囃子体験や神輿体験を実施します。
- その他
疫病退散、五穀豊穡などの人々の祈りや願いを込めて始められました。名前の由来は、渋うちわを客にふるまったことによります。

※資料の有無(有・無)

担当者 熊谷市総合政策部スポーツ観光課 島村、金井

連絡先 048-524-1111(内線513)